

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっとハウスばうむ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 17日 ~ 令和7年 3月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)
			20
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 26日 ~ 令和7年 3月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
			5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 11日		

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムがマンネリ化することのないよう、活動内容の工夫・改善に努めてきた。	活動の際の児童の実態把握や実施の際のこどもたちの反応を見極めながら、より楽しい活動となるよう進めている。	更なる情報収集や活動実施後の検証の充実に努めていく。
2	こどもたちが安心して楽しく、安全に過ごす居場所作りに努めている。	こどもたち一人一人に寄り添った日頃の触れ合いを大事にした支援に努めている。 職員一人一人が、明るさや温かさを大事に、きめ細やかな言葉かけ等意識しながら支援している。	職員とこども間、あるいはこども同士、職員同士の更なる人間関係の構築に努める。
3	少人数の利点を生かし、一人一人のこどもの状況や実態について情報を共有しながら、支援の改善に努めている。	こどもたち一人一人の気になる言動をすぐに職員間で話題に取り上げ、素早い情報の共有・共通実践に努めている。	日頃の職員間の交流を大事にしながら、信頼関係を深めている。

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画作成（見直し）の際の、事業所と保護者間の情報交換が不足している部分がある。	コロナの影響により文書による見直しを実施してきたため、丁寧な説明に欠けていたと考えられる部分があった。	確実に面談を実施し、アセスメント等も含め実態把握・懇切丁寧な説明に努めていく。
2	事業所としての取り組みや活動内容等についての保護者への周知不足がある。	広報等を発刊しているが、利用日数等が少ない利用者の保護者へ十分に伝わっていない部分があった。	広報等の発刊だけでなく、ホームページの充実等も進めながら一層の保護者への周知徹底に努めていく。
3	法令改正に伴う、改定内容や職員のスキルアップにつながる研修等へ積極的に参加出来ない部分があった。	大幅な改定内容であったことや、日頃の業務を優先するあまり、研修のための時間が不足していた。	スキルアップのため研修等の情報収集に心がけ、積極的な参加に努める。

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名		ほっとハウスばうむ						
		公表日 令和7年3月28日						
		利用児童数 令和7年3月 21名 回収数 20名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18		1	1	・職員の方の人数が少ないと感じます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			2	・3月中にホームページにて公表したいと思います。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2			・コロナもあり面談が出来ていませんでした。今現在も面談等ない為、支援についての話はあまり無いのが現状です。	・4月から面談を実施して進めて参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	3		2	・支援内容に関しては、最初の頃とあまり変わらずという感じです。お迎え時その日の様子を伝えてくださるので、制作・宿題（プリント）、遊びの様子などがわかるので嬉しいです。本人も、楽しかったよと言って帰って来るのも嬉しいです。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	1	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	7	3	8		・保護者の皆様の要望があれば前向きに検討したいと思います。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	6	3	7		・情報収集に努めて、得た情報については積極的に保護者へ伝達していきたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	4	8		・保護者の皆様の要望があれば前向きに検討して行きたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3	1	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	1	1		・更に充実した内容で保護者の皆様に発信できるように努めていきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		1	・他の事業所さん同様ですが、どのように留意されているかはあまり伝わらないと思います。	・今後も保護者の皆様の意向を把握しながら、個人情報の流出には細心の注意を払っていきたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	1	2		・さらに実態に則した訓練となるよう工夫していきたいと思います。また、その都度状況について周知徹底をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		2	・あまり自分の子が訓練の日に通っていないだけかもしれません、行われていないと思う。	・年3回（火災、地震、水害）避難訓練を実施していますが、更に周知徹底を努め、充実した訓練にしていきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1	・事故等、今まで特になかったのでよくわかりません。いつも注意して見ていただきありがとうございます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20					
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				
		公表日 令和7年3月28日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				・スペースがもう少し広いと支援や活動に工夫が増やせると思われる。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4			・もう少し職員数が増えると、出来る業務も増えると考えられる。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・死角が少ない。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				・もう少し広いと運動の活動にも工夫が増やせる。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	・パーテーション等を使い着替えのスペースを創出している。 ・限られたスペースの中で職員が工夫して個別の空間を確保出来るようにしている。		・今も個別の部屋にはなっているが、着替えの場所等しっかりとした場所があると良い。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・職員間での振り返りを常に行い意思疎通を図っている。 ・職員が少人数という利点を生かして常に改善策の話し合いを持ち、進めている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			・第三者委員会の活用に努めたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				・アセスメントについては中断していた面談を進める中、実態把握に努めていく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	3			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3			・アセスメントの充実に努めていきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・法令改正をもとに、適切な支援内容の設定に努めた。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・プログラムのマンネリ化を防ぐ為に、消防署、警察署の見学等も取り入れて取り組んできた。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		・今後連携するための体制作りに努めたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・該当児がいなかつたため、特に連携はしていなかつた。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		・情報収集に努めているが、助言や研修の機会は時間、体制的に難しい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・保護者の意見を聞きながら、今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・利用時の連絡帳を活用し、子どもの現状や課題等について保護者と共有化を図っている。 ・保護者のお迎えの時にも様子を丁寧に説明している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・入ってきた情報については、随時提供に努めている。	
保護者の説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・HP、SNSを準備中。通信は発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・地域の伝統行事に参加したり子ども達の作品掲示等を通して、地域との交流が深まるよう努めている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・保護者の方への周知は口頭で行っている。	・マニュアルの作成はできており、今後保護者にも周知していく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・長期休業時に定期的に訓練を行っている。 ・実施後の反省をもとに計画に改善（より実際的なものに）を図りながら実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アセスメントによりアレルギーを把握し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・保護者の方への周知は口頭で行っている。	・マニュアルの作成はできており、今後保護者にも周知していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットの事例を口頭で話し合いをしている。	・今後、事例集の作成を進めて行きたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・虐待防止研修会の内容を職員で共有し、さらに防犯カメラを設置し適切な対応を心がけている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・保護者との面談の時に拘束が必要な子どもについては保護者に説明し承諾を得ている。	